

受かる電験 2 種一次電力正誤表

コード：10222

版刷：第 1 版第 1 刷

発行日：2017 年 10 月 27 日

正誤表作成日：2019 年 5 月 14 日

ページ	箇所	誤	正
	例題 2 答	(1) 位置, (2) 音, (3) 負, (4) 共鳴, (5) 運動	(1) 運動, (2) 圧力, (3) 負, (4) 反射, (5) 水撃
5	解説を次のように変更	<p>管路の中に水が充満して流れているときに、その管路に設けられた弁を急に遮断すると、水の運動エネルギーが圧力エネルギーに変わって、管内に大きな圧力上昇が起きる。また、弁を急に開放すると、水は急に流動を始め圧力降下を起こす。この圧力変動は圧力波となって管内を伝わる。これを水撃作用(ウォータハンマ)という。</p> <p>これを防止するために水撃圧(水撃作用による圧力変動)のクッションとしてサージタンク(調圧水槽)を設置する。水撃圧は流速が速いほど、また水圧管路の長さが長いほど大きい。</p>	
	問題 1 解 答	(1) — (ト), (2) — (チ), (3) — (ニ), (4) — (イ), (5) — (ホ)	(1) — (カ), (2) — (コ), (3) — (ニ), (4) — (ロ), (5) — (ト)
23	解説を次のように変更	<p>取水ダムで取水した水は、まず、沈砂池に入り、取水口から取り入れた水の中に含まれている砂を、流速を適当に下げることにより沈殿させて水車のほうに入り込まないようにする。</p> <p>導水路は、取水口から上水槽(ヘッドタンク)またはサージタンクに水を導くための設備で、水路が比較的簡単に設置できる場合には開きよが、それ以外ではトンネルが用いられる。トンネルには無圧水路(無圧トンネル)と圧力水路(圧力トンネル)とがあり、水路式発電所の場合は無圧水路となり、無圧水路は一般に馬蹄形断面を採用し、コンクリートなどで内面の巻立を施して漏水を防止するのが通常であるが、岩盤が堅固で漏水の心配がない場合には素掘りのままとする場合もある。</p> <p>水槽は、導水路と水圧管路の接続部に設け、最終的な土砂の沈殿や落葉などのごみの取り除きを行うほか、負荷の変動に対応して水量を調整したり、負荷急減に伴う水圧上昇(水撃作用)を吸収するなどの働きをする。水路式発電所の無圧水路に接続される場合を上水槽またはヘッドタンクという。ヘッドタンクには、負荷の急減などで発生した余剰水を河川に放出するための余水吐けや余水路が併設される。</p>	